

2020年5月27日

## ダイハツ コンパクトSUV「ロッキー」が 衝突安全性能評価における最高評価「ファイブスター賞」を獲得



ロッキー G  
(メーカーオプションの2トーン仕様)



ダイハツ工業(株)(以下ダイハツ)が2019年11月に発売したコンパクトSUV「ロッキー」が、国土交通省と独立行政法人日本自動車事故対策機構(NASVA<sup>※1</sup>)が実施する2019年度JNCAP<sup>※2</sup>衝突安全性能評価において、最高ランクとなる「ファイブスター賞<sup>※3</sup>」を受賞した。

「ロッキー」は、ダイハツの新世代のクルマづくり「DNGA(Daihatsu New Global Architecture)」第2弾となるコンパクトSUVである。取り回しのよい5ナンバーサイズながら、広い室内空間や力強いデザインを実現するとともに、予防安全機能「スマートアシスト」を採用し、日常生活からレジャーまで幅広いシーンでご使用いただける商品として、多くのお客様にご愛用いただいている。

JNCAP衝突安全性能評価は、日本における交通事故の発生状況と装備・機能による被害軽減効果から、評価項目ごとの被害軽減効果を点数化されるもので、2018年度からは、「乗員保護性能」「歩行者保護性能」「シートベルト着用警報」の3つの項目において、100点満点で審査が行われている。今回、DNGAによる新しいプラットフォームを採用した「ロッキー」は85.7点を獲得し、最高評価となる「ファイブスター賞」を受賞した。ダイハツ生産車が「ファイブスター賞」を受賞するのは、2016年度の小型乗用車「ブーン」に続いて2度目となる。

ダイハツは“Light you up”の考え方のもと、これからもお客様一人ひとりに最適なモビリティを提供し、軽自動車と小型車の幅広いスモールカーラインナップで、お客様のニーズにお応えしていく。

※1 National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid

※2 Japan New Car Assessment Program

※3 100点満点中82.0点以上の場合5つ☆(ファイブスター賞)を獲得